

使用上のご注意

- 弊社販売商品は、必ず漏電ブレーカー(定格感度電流30mA以下)がついている回路に接続してください。
 - 凍結シーズン以外は電源プラグを抜いてください。抜いた電源プラグは、雨水等がかからないように保護してください。(200V品は電気を遮断してください。)
 - 凍結シーズン中に長期不在になる場合は、ヒーターへの電気を遮断し、水道配管の水抜きをして凍結を防いでください。
 - 自然災害のあとは異常がないか点検をしてください。
 - 凍結シーズン前に異常がないか点検をしてください。
 - ヒーターを改造したり、修理しないでください。
 - 一度使用し取り外したヒーターは再使用しないでください。
- ※ヒーターとは完成品のことを指します。

凍結防止効果

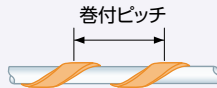
※異常加熱事故及び凍結事故を防止する為に、巻付けピッチを守ってください。

D型 PLD型

管径	外気温	保温テープ(1/2重ね巻き)		保温チューブ(10mm)	
		巻付けピッチ	配管1mに必要な発熱部の長さ	巻付けピッチ	配管1mに必要な発熱部の長さ
15A	-10℃	そわせる	1m	そわせる	1m
	-15℃	223mm	1.04m	そわせる	1m
	-20℃	80mm	1.31m	そわせる	1m
20A	-10℃	そわせる	1m	そわせる	1m
	-15℃	108mm	1.27m	そわせる	1m
	-20℃	69mm	1.59m	そわせる	1m
32A	-10℃	131mm	1.42m	そわせる	1m
	-15℃	82mm	1.89m	そわせる	1m
	-20℃	62mm	2.37m	227mm	1.2m
50A	-10℃	111mm	1.96m	そわせる	1m
	-15℃	78mm	2.62m	254mm	1.2m
	-20℃	60mm	3.27m	158mm	1.6m

条件：付属保温テープ1/2重ね巻き、無風状態管内保持温度5℃

※保温テープの量が不足することがあります。その場合は保温テープ(9ページ)を別途お求めください。



W型

管径	外気温	巻付けピッチ	配管1mに必要な発熱部の長さ
32A	-10℃	そわせる	1m
	-20℃	100mm	1.7m
65A	-10℃	172mm	1.7m
	-20℃	89mm	2.9m
100A	-10℃	154mm	2.5m
	-20℃	88mm	4.2m

条件：付属保温テープ1/2重ね巻き、無風状態管内保持温度5℃

DSR(x)型 DSFW型 WS型

外気温	配管	保温チューブ10t	保温チューブ20t
-10℃	15A	そわせる	そわせる
	20A	そわせる	そわせる
-15℃	15A	そわせる	そわせる
	20A	そわせる	そわせる
-20℃	15A	そわせる	そわせる
	20A	そわせる	そわせる

D型 PLD型 W型

- 樹脂配管には使用しないでください。
- 発熱部の巻きすぎは危険です。発熱部同士が接触したり重なったりしますと、火災等の原因になります。絶対に避けてください。
- 配管の温度が100℃以上になる場合は使用しないでください。(蒸気配管等)
- サーモスタットは必ずヒーターを取り付けた配管に密着させてください。
- 給湯管と給水管は必ず別々のヒーターを使用しそれぞれの管にサーモスタットを密着させてください。
- 系統、配管径、配管材質、保温材質、保温材厚、管内流動、その他の環境や条件等が変化した場合も、必ず別々のヒーターを使用し、それぞれの管にサーモスタットを密着させてください。又は自己制御型ヒーターをご使用ください。
- ヒーターを取り付けた配管の保温は配管全体が均一になるようにしてください。(発熱部、サーモスタット部、端末部のすべて)
- 配管の保温は付属の保温テープをご使用ください。それだけで十分な保温効果があります。グラスウール等のその他の保温材を使用する場合には、発熱部が保温材にはさまれたり、発熱部が配管から離れたりしないようにアルミ箔粘着テープで確実に固定してください。(特にエルボ部分)
- メンテナンスのときにサーモスタットの位置が確認できるように保温材の表面にラベル等貼り付けることをおすすめします。

- 使用状況や環境によっても異なりますが、ヒーターは約10年を目安に交換してください。
- 水道凍結防止(給水、給湯)以外には使用できません。
- 配管内の水は抜かないでください。水を抜くときはヒーターの電源プラグを抜いてください。排水管には使用しないでください。
- 腐食性ガスや可燃性ガス雰囲気等危険な場所での使用はしないでください。
- 屋外と屋内は別々のヒーターをご使用ください。
- ヒーターを改造しないでください。
- ヒーターに衝撃を加えないでください。特にパイロットランプ部やサーモスタット部は注意して取り扱ってください。
- 凍結シーズン以外は電源プラグを抜いてください。(W型は、電気を遮断してください)
- 凍結シーズン前に必ず点検してください。又、定期的に必ず漏電ブレーカーの動作を確認してください。
- D型PLD型は15A以上の金属配管にご使用ください。
- W型は20A以上の金属配管にご使用ください。
- 隠蔽配管やコンクリート埋込等保守点検、及び交換できない場所にはヒーターを絶対に取り付けしないでください。
- 水中または水の浸かる場所では使用しないでください。

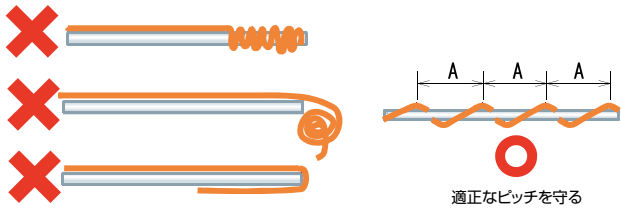
CH型 DF型 PTC型

- 100℃以上になる部分には使用しないでください。
- ヒーターを改造しないでください。
- ヒーターに衝撃を加えないでください。
- 凍結シーズン以外は電源プラグを抜いてください。
- 凍結シーズン前に必ず点検してください。又、定期的に必ず漏電ブレーカーの動作を確認してください。

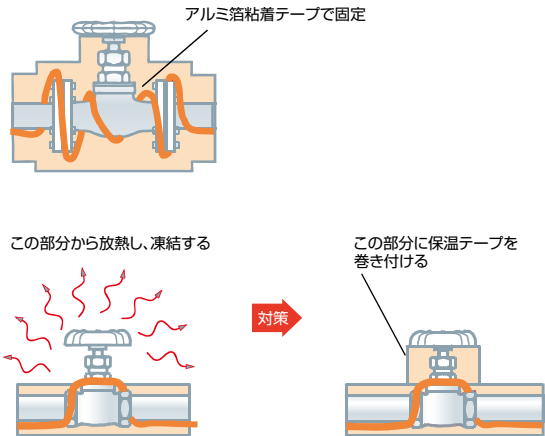
PSH型

- 60℃以上になる部分には使用しないでください。
- ヒーターを改造しないでください。
- ヒーターに衝撃を加えないでください。
- 凍結シーズン以外は電源プラグを抜いてください。
- 凍結シーズン前に必ず点検してください。又、定期的に必ず漏電ブレーカーの動作を確認してください。
- 樹脂には使用しないでください。
- 発熱部同士が接触したり重なったりしますと、火災の原因になります。絶対に避けてください。

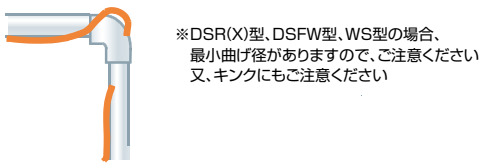
D PLD W



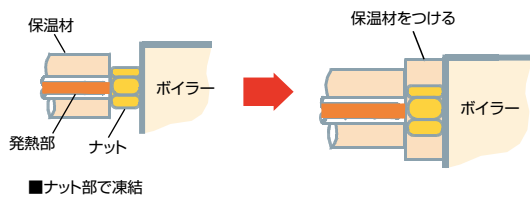
DSR(x) DSW WS



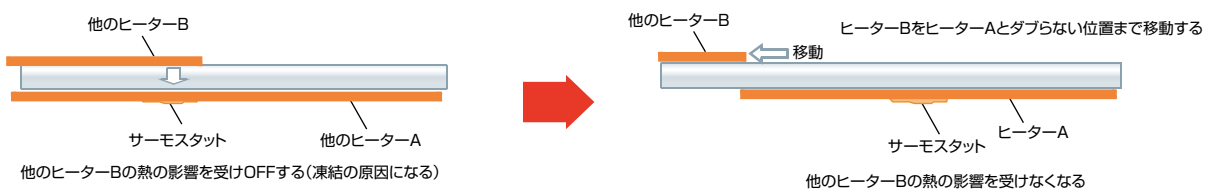
D PLD W DSR(x) DSW WS



D PLD W DSR(x) DSW WS



D PLD W



D PLD W

